

「院外心停止を起こした非ST上昇型急性心筋梗塞における、頭蓋内病変評価と経皮的冠動脈造影検査・形成術の適切なタイミングを検討する後ろ向きコホート研究」について

[対象となる方]

2008年1月1日から2024年3月31日まで、院外心停止で当院に搬送され、経皮的冠動脈造影検査・形成術を施行した患者さん。

[研究の背景]

急性心筋梗塞は院外心停止の主な原因であり、早期の冠動脈造影検査・治療が必要であると報告されています。また、心肺停止による蘇生後脳症は予後不良であり、対体温両方などの適切な蘇生後管理が必要となります。病院到着後に、冠動脈の評価と蘇生後脳症の評価のどちらを優先すべきかデータが十分ではありません。

[研究の目的]

院外心停止で当院に搬送され、経皮的冠動脈造影検査・形成術を施行した患者さんのデータ（病名や検査データ）を用い、最適な治療手順を明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

この研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のもとに実施されます。使用するデータベースは匿名化処理がされており、個人情報提供されることはなく、個人情報を扱うことはいたしません。したがって対象者の方の個人情報が漏れることはありません。研究結果は個人が特定できない形式で学会または論文発表されます。収集する項目は、性別・入院時年齢、入院時診断名・入院時併存症病名・入院後合併症病名、家族歴、生活歴、内服歴、手術実施日、使用された薬剤・医療材料、検査データ（採血・レントゲン・心電図・心エコーなど）、カテーテル手技内容、在院日数、退院時転帰などの情報です。さらに詳細な項目内容についてご質問があれば、下記までご連絡ください。

[研究期間]

倫理委員会承認後から2024年3月31日までとしています。

[公表方法]

本研究から得られた情報は、情報を匿名化した後、各種学会や論文での発表として公表予定です。

[問い合わせ先]

研究に関する問合せ先：循環器内科 清水 茂雄

〒190-0014 東京都立川市緑町3256

[TEL:042-526-5511](tel:042-526-5511)（災害医療センター 代表）